

令和2年度 事業計画書

特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議

【1】事業の実施方針

2020年2月のエコフォーラムにおいて、伏見市長が「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」を宣言しました。夏の猛暑と冬の暖冬、巨大な自然災害の多発と、地球温暖化の深刻な状況が誰の目から見ても明らかとなってきた今、市民と行政、事業者が力を合わせ一丸となって、取り組んでいかなければなりません。当法人でも、様々な角度からの啓発活動を展開していきます。

その一つとして、今年新たに、「プラごみダイエット推進事業」を行います。「 unnecessaryプラスチックの使用を減らすこと」「きちんとした処理ルートにのせる」この2つについて、その方法を市民と一緒に考えていきたいと思っています。

一方、取り組み最終年度となるのは、10年前にスタートしたS-EMS（学校版環境マネジメントシステム）の支援事業です。環境をよくしていくためには、若い世代や子ども達の教育や習慣づけが本当に大切です。そのためには、まずは、教職員の方々に環境意識をしっかりと持っていただき、教育の場で、きちんと環境教育を行っていただくことが望まれます。

S-EMS支援のスタート以来、学校園への環境に関わる情報提供をはじめ、教職員を対象とした研修支援等を行ってきましたが、今後も引き続き、何らかの形で学校への情報提供および教職員向けの意識啓発を継続させていく必要性を強く感じています。そのための方策を検討していきます。

【2】事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

	事業名	事業内容	実施 予定日	実施 予定場所	担当	対象 者	予算額	支出見込額
1	(1)温暖化対策推進チームミーティング開催事業	地球温暖化対策事業について、月に一度ミーティングを開催し、当法人が取り組むべき課題や具体的手法、新規事業の企画、継続事業の検証などを話し合う。	4月1日～ 3月31日	枚方市 全域	運営委員会	市民・事業者	¥569,300 (補助金、協賛金等)	¥569,300
	(2)「我が家のエコノート」普及事業	省エネ意識の継続と、温暖化対策としてのCO ₂ 削減量の数値把握のため実施。7年目となるが、取り組み者の継続意欲が高いことや新規参加者も一定数を維持しているため今年度も継続する。	4月1日～ 3月31日					
	(3)ごみ減量推進事業	①リユースコーナーの管理運営事業 4Rの推進の一環として昨年OPENした「リユースコーナー」を継続。より多くの方に知ってもらい活用してもらえる工夫を行う。 ②プラごみダイエット推進事業 枚方市の「プラゴミポイ捨て0宣言」を受けて、「 unnecessaryプラスチックの使用を減らすこと」「きちんとした処理ルートにのせる」ことを目的としたアイデア募集を行う。結果はごみ減量フェアにて発表する。	4月1日～ 3月31日 6月～ 11月					

	事業名	事業内容	実施 予定日	実施 予定場所	担当	対象 者	予算額	支出見込額
	(4)エコ行動宣言事業	3年目となる事業である。前年度に引き続き今年度も実施する。より多くの市民に参加してもらえるよう努める。また、結果報告の内容・方法を工夫し、フィードバックをしっかりとっていく。	6月～12月					
2	環境講座開催事業	(1)自然エネルギー学校2020の開講事業	8月～11月	市内及び周辺	自然エネルギー部会	市民	¥219,100 (補助金、受講料)	¥219,100
		(2)環境教育担い手育成講座「くらわんか塾」開講事業	9月	市内及び環境保全研修室	環境教育部会			
		(3)環境活動スターター講座の開講事業	6月～3月	環境情報コーナー・環境保全研修	事務局			
3	中間支援事業	(1)環境団体活動交流事業	4月1日～3月31日	市内各公共施設及び市内各所	事務局	市民・団体・事業者	¥52,900 (補助金等)	¥52,900
		(2)環境団体活動支援事業						
4	ひらかたエコフォーラム開催事業	昨年同様、2月に枚方市との共催で開催予定。今年度は、市民の取り組みに視点を当て、市民の頑張りを広く共有できる形を検討する。併せて環境表彰の対象について検討する。午後のシンポジウムや団体のブース出展も従来同様実施する。	2月	メセナひらかた会館	運営委員会		¥228,400 (補助金等)	¥228,400

	事業名	事業内容	実施 予定日	実施 予定場所	担当	対象 者	予算額	支出見込額
5	環境情報コーナー の 運營業務委託事業	枚方市の委託事業として「枚方市環境情報コーナー」の管理等運営を行う。今年、環境啓発パネルや環境団体のパネルをリニューアルする。また、リユースコーナー、生き物展示、子どもたちや親も自由に気軽に訪れ楽しみながら環境について学べる施設となるよう運営していく。各種講座開催や他団体利用促進も行う。	4月1日～3 月31日	環境情報 コーナー ・環境保 全研修	運営 委員会	市民	¥220,000 (受託費)	¥220,000
6	総会及び会員交流 会等開催事業	例年通り、通常総会を開催する。その後の交流会も実施予定。参加者数の増加に努める。	6月	環境保全 研修室	事務 局	市民	¥30,000 (会費)	¥30,000
7	広 報 事 業	(1) 会報誌[環 境ひらかた]発 行事業	4月1日～ 3月31日	事務 所	事務 局	市民	¥220,000 (会費)	¥220,000
		(2) HPの管理 運營業業					¥10,000 (会費)	¥10,000
		(3) その他の 広報活動					¥0	¥0
8	自 然 エ ネ ル ギ ー 普 及 啓 発 事 業	(1) 自然エネル ギー学校2020の 開講事業	4月1日～ 3月31日	枚方市内	自然 エネ ルギ ー部 会	市民	¥50,000 (寄付金等)	¥50,000
		(2) こもれび 水路プロジェクト						

	事業名	事業内容	実施 予定日	実施 予定場所	担当	対象 者	予算額	支出見込額
9	モビリティ・マネジメント事業	(1) 「ひらかた交通タウンマップ」作製配布事業 「ひらかた交通タウンマップ」及び啓発チラシを年2回更新・作成し全転入世帯に配布する。また、市内の公共施設や駅にも設置し広く市民に活用してもらえるようにする。	4月1日～ 3月31日	枚方市役所及び支所	公共交通部会	市民	¥3,650,000 (受託費)	¥3,650,000
	(2) 公共交通利用促進事業	①「バス！のってスタンプラリー」の実施 市内の桜の名所や歴史文化史跡などを巡る1日イベント「バス！のってスタンプラリー」を春と秋に実施し、公共交通の利便性と枚方のまちの楽しさを体験してもらう。但し今年度は春は中止とした) ②「ひらかた交通すごろく」の活用 ③交通タウンマップの普及促進の取り組み 寝屋川市交通タウンマップ作製の他、他自治体へタウンマップの受注を働きかけ、枚方市周辺も含めた公共交通利用促進に努める	4月1日～ 3月31日	枚方市全域と周辺都市の一部				
10	まちづくり推進事業	(1) 美しいまちづくり推進事業 美しいまちづくりのための清掃活動を引き続き実施する。歴史的な場でもある枚方宿場町街道と二宮神社周辺を重点地区として定期的に清掃。また、「天の川クリーン&ウォーク」への参加も継続する。	4月1日～ 3月31日	枚方市内	まちづくり部会	市民	¥20,000 (受講料)	¥20,000
	(2) 歴史文化遺産の保存と活用事業	昨年同様、まちづくりの観点から歴史的遺産や魅力ポイントを見て歩きながら考えるウォーキングを2回実施する。また枚方の魅力及び歴史的遺産を広く再認識してもらうため、NPOフェスタにて「フォトイベント」を実施する。						
11	環境教育推進事業	(1) 環境教育の出前授業の実施事業 今年度も引き続き市内学校園をはじめ各種団体等への出前授業を実施する。学校の諸事情による授業依頼減少に歯止めをかけるため、学校や教師への働きかけも行っていく。また、企業や他団体からの依頼への対応も検討していく。	4月1日～ 3月31日	枚方市内 学校園	環境教育部会	市民・児童・生徒	¥140,000 (受託費、寄付金)	¥140,000
	(2) 環境啓発・環境教育ツール作成事業	児童・生徒の目線で、新規のメニューを開発する。又、既存メニューの見直し・改善を行い、学校側のニーズも取り入れ、メニューの再構築に取り組む。教材機器の改善は継続して行なっていく。						

	事業名	事業内容	実施 予定日	実施 予定場所	担当	対象 者	予算額	支出見込額	
12	S E M S 支 援 事 業	S-EMS構築・運 用の支援事業	「枚方市学習環境整備PFI事業」 の一環である「S-EMS支援事業」 は、今年度で最後となる。今年度 は、試行期間を含め12年目となり、 学校訪問は4巡目となる。PFI事業 終了後も継続して、学校への環境 啓発支援を行っていくための方法 を検討する。	4月1日～ 3月31日	枚方市内 学校園	S - E M S チ ー ム プ ロ ジ ェ ク ト	学 校 園	¥1,200,000 (受託費)	¥1,200,000
13	人 材 育 成 事 業	インターンシッ プ受け入れ事業	年2回、夏休みと春休みに大学 生のインターンシップ生を受け 入れる。これからの地球を担う 若い世代への環境啓発、そして リーダーとなっていける人材を 育てる。	8月～9月 2月～3月	事務所	事 務 局	大 学 生	¥0	¥0
		インターン生 フォローアップ 事業	インターン終了後も環境活動に 関心をもってもらうため、イベ ントのスタッフや講座の企画な ど、機会を設けて声をかけたり インターン生の相談を受けたり 活動支援を行う。そのため、若 者を対象とした「スタッフ会 員」制度を新設する。	8月～9月 2月～3月					

2. 収益事業

該当計画なし